

AJU 愛実

第35号 会報

編集: 特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実
(大地の家/愛実友だちの家/紙風船)

定価:一部100円

「助け合って生きる道」/島しづ子	P1
事務所より	P2
大地の家のページ	P3~5
紙風船のページ	P6~8
「トキメキの劇づくり」/南 寿樹	P9
寄付者名簿	P10



【紙風船】

24時間テレビにて

【大地の家】

金曜日メンバー集合



助け合って生きる道

理事長 島 しづ子

今年も残る日々が少なくなりました。変わることなく愛実の会を見守りいただき、ありがとうございます。どうぞお元気でクリスマス、新年をお迎えください。

7月に相模原津久井やまゆり園で19名もの方が殺害され、26名が重傷を負わされた事件がありました。容疑者が「障害者は不幸を作ることしかできません」と書いていたと聞き、容疑者はかつてその施設で働いていたそうなのに、入居者のお世話をしながら、誰とも出会わなかったのだろうかと思いに思いました。

たんぼぼや愛実の会の創設に関わり、働いてきた立場から思うことがあります。障がい者を社会的弱者として見る面は他の人と同じですが、彼らの精神の強靭さには畏敬の念を抱いています。介助者の弱点、良い所を知っていてそれぞれに応じた要求をすとか、介助者の未熟な態度に怒っても、基本的には忍耐して身を任せる。相手を見る時に能力よりも自分との関係に力点を置いた見方をする。耐え難い差別的な社会のまなざしの中で、悶々としながらも堂々と生きようとしている。

誰もが「人に迷惑をかけないように生きなさい」という教育をされました。だからできるだけ人の世話にならないようにと歯を食いしばって生きてきました。介助を必要とする障がい者が肉親以外の人に支援されて生きる道は無かったし、あってもわずかででした。地域で生きるにはハードルが高く、家族の世話を受けられなくなったら施設へという道でした。国際障害者年や先輩たちの身を挺した行動によって重度の障がい者も地域生活が送られるようになってきました。津久井やまゆり園の方々も地域で生きる道があったなら事態が違っていただかもしれないとも思います。

「大地の家」や「愛実友だちの家」の母親たちでよく言った言葉があります。「自分のためには頭を下げたくないけど、子どものためなら頭を下げる」と。子どもの生活を守るために周囲にお願いをしてきました。何年もたった今思います。創設期の母親たちは生活も意見も行動も全く違ったけれど、助け合うしかなくて一緒にやってきました。そして子どもたちを助けると言いながら、実は親たち自身が様々な経験をさせてもらってきたことに気づきます。その存在が迷惑どころか、私たちを成長させ、生きることの中身を濃くしてくれました。

できないことはお願いして、できることで相手を助ける、という道が見つかった時、この道は全ての人にも必要な道だと思えました。いかに助け合えなくて孤独に生きている人が多いことでしょう。とは言え、「助け合って生きる」という道は誰にとっても形成途上にあるので、衝突する事も多く、毎日が葛藤です。では葛藤を与える対象を抹殺していいとの考え方は非現実的です。愛実の会では言葉を発しない方も多いので、注意深く見つめ、声を聴きとる力が必要です。自分が聞き取っているとは全く思えません。でも相互に聴き合うことを続けたいと思います。

あの事件が間違いだったのは、容疑者が自分の価値観で人のいのちの価値を決めた事でしょう。未熟な自分を悟り、目の前の人間に対する謙虚な姿勢があったらば、どうだったでしょう。彼ばかりでなく、神や自分以外の人への畏敬の念を失いつつある現代の課題でもあります。

事務所より

歯科検診を実施しました

- 港区障害者自立支援協議会および港区歯科医師会のご協力により実現しました -



今年も年に1度の歯科検診を実施しました。この歯科検診は、名古屋市港区障害者自立支援協議会より名古屋市港区歯科医師会が委託を受け実施されています。港区内の歯科医と歯科衛生士さんが各施設をまわって検診を行ってくださっています。

当日は3名の歯科医、5名の衛生士さんと音楽療法の先生方3名が来られ、当日の出席メンバー19名に対して手厚く口腔ケアの指導を行ってくださいました。

まずはじめに音楽を使って全体での口腔内環境についての学習をしました。お話を聞くだけでなく、音を鳴らしたり歌を歌ったりして活発な時間となりました。

その後は各部屋に分かれて、歯科医さんと衛生士さんにメンバーひとりひとりの口腔チェックをしていただきました。

歯科医さんには虫歯の有無や歯茎の状態のチェックをしていただき、衛生士さんにはメンバーひとりひとりに合わせた口腔ケアの実践方法を詳しく教えていただきました。

口腔ケアの基本的な部分を理解しているつもりでしたが、今回は1人1人に合わせた応用をしっかりと教えていただくことができたので、今後のケアに生かしていきたいと思いました。

ACCJ/NIS Walkathon より寄附を頂戴しました

5月に開催されましたWalkathon (主催: ACCJおよび名古屋国際学園)の寄付金として150,000円を頂戴しました。

今年度NPO法人愛実の会は創立10周年を迎えます。2017年2月にささやかな記念行事を行いたいと考えておりますので、その催行資金として大切に使用させていただきます。



求人のお知らせ

私たちNPO法人愛実の会では、メンバー(利用者)の思いが活かされるケアの実践を目指しています。メンバーの思いが活かされるためには、まずはメンバーの声をしっかりと受け止められる体制作りが必要だと考えています。

今年度に入ってからアシスタントの欠員状態が続いており、現在も人材を募集しております。フレッシュなアシスタントのお力をお借りして、メンバー1人ひとりの思いが聞き取れるよう、マンツーマンケアの実践を行いたいと思っています。

愛実の会では、日勤のみ・完全週休2日制・年間休日125日・海外研修旅行の実施・マッサージ等セルフケアに関する助成・福利厚生センターへの加入...などを実施しています。

少しでも興味をもたれましたら、お気軽にお問い合わせください。

また、お知り合いに良い方がいらっしゃいましたらご紹介をお願いいたします。

【待遇】

- 初任給 (一律手当含む) □169,600円~176,000円 ■介護福祉士、社会福祉士等資格手当
- 処遇改善手当(上記初任給に含む) ■住宅手当あり ■賞与年3回(前年度実績)
- 通勤手当実費支給



大地のパーティー

(P3~5)



バーベキュー

10月18日(火)、東海市のしあわせ村でバーベキューをしました。天気は秋とは思えないほどの晴天で、最高気温も28度の夏と疑うような気候です。

BBQ場に着くと、まずはメンバーもアシスタントも水分補給。あまりの暑さに冷たい飲み物がとてもおいしく感じられました。

その後は辺りを散策したり、木陰で休んだり、お肉が焼けるまでの時間を思い思いに過ごしました。

お昼の時間になると、辺り一面にお肉の焼けるいい匂いが漂います。その匂いを合図としたように、メンバー達も自然と食事の準備が始まりました。

しあわせ村のBBQ場には、イスやテーブルが一切ないので、アシスタントが持参したキャンプ用の物を使用しました。大きな木が生えており、その下でBBQを楽しみました。

BBQの時は毎回なのですが、メンバーもアシスタントも食べる量がほぼ全員いつもよりかなり多いです。天気の良い外での食事をするのと、焼きたてのお肉の相乗効果ともいいですか、用意されていたお肉はあっという間になくなってしまいました。

中でも特に沢山食べる1人のメンバーは、「もっと食べる！」と時間ギリギリまで口を動かして食べ続け、帰りの車の中でもとても満足そうに笑っていました。



リトミック



毎月2回、月曜日と水曜日に大地の家ではホールでリトミックを行っています。リトミックとは、音楽を通して身体でリズムを学び、自発性と反射性、精神の集中力と記憶力、創造力などを養うことです。

あいさつの歌から始まって、季節の歌、身体を動かすリズム遊び、ハンドベルや鈴などの楽器を使った演奏会など、様々な音楽の活動をしています。

音楽が好きなメンバーが多い大地の家でのリトミックは、いつでも笑い声でいっぱいです♪

中には、「今日はリトミックの日だよ」と声を掛けるだけで朝からニコニコの笑顔が止まらないメンバーもいるほどです。

ピアノの音色を聴くと声を出して笑い出したり、身体全体を使ってリズムをとるメンバー、知っている曲が流れると一緒に歌うメンバーもいます。



ハンドベルで演奏する時には、メンバーそれぞれに割り振られた音を、ピアノの伴奏とともに自分の出番の時に鳴らします。1つ1つはバラバラの音ですが、順番通りに鳴らすことができると綺麗な1曲が出来上がります。

最初のうちは苦戦していたメンバー達ですが、だんだんとやり方がわかってくと自信ありげにベルを鳴らしていました。





10月29日(土)は、大地の家で少し早めのハロウィンパーティをしました。パーティには隣の部署の紙風船もお招きして、大人数が大地の家に集まりました。

メンバー&アシスタント達も海賊の格好をしたり、マントを羽織ったりと、ハロウィンらしく仮装して準備万端！自分達の格好を得意げに他の人に見せに行くメンバーもいました。

全員が集まると、まずは歌で大合唱です。それぞれが好きな楽器を持って伴奏に合わせて歌いました。曲名は「しあわせなら手をたたこう」♪音楽の好きなメンバー達は、ニコニコの笑顔で楽器を鳴らしたり歌ったり・・・大地の部屋は大盛り上がりでした。



その次はハロウィンらしく少しホラーなゲームをしました。メンバーの中から代表者を決め、その人には目隠しをしてもらい、何を触っているのかを当てるゲームです。

少し冷たくてツルツルとした不思議な感覚・・・。ちなみに正解が見えている他のギャラリーからは「キャー」「気持ち悪い！」との喜び(?)の声が上がっています。何を触っていたかという・・・「ミミズ」です(*^_^*)

もちろん本物のミミズではありません。アセロラジュースで作った本物そっくりのミミズグミでした！完成度は周りの反応からもかなりの出来だったのではないのでしょうか？楽しいハロウィンパーティになりました♪



紙風船のページ (P5~7)

早いもので今年も残すところ僅かとなりました。暑さが続いたと思えば急に寒くなったり最近では春夏秋冬の区別があまりはっきりしませんね。

今回は、秋のお出かけや紙風船の新たな取り組みについてお届けします。また、来年3月に迫りました「紙風船20周年記念公演」のお知らせもしたいと思います。

アートアイランド佐久島へ！ 10月19日(水)

「船に乗ってどこかへ行ってみたいなあ・・・」

そんな希望がメンバーから出ました。そしてついに実現したのです！行き先はアートの島”佐久島”です。

当日のお天気はサイコー♪初めての船旅に少しドキドキしながら、一色港から30分間の船旅でした♪お昼ごはんの後は海辺まで歩いて「おひるねハウス」でのんびりし、お土産屋さん「しいちゃんの里」へも立ち寄りしました。滞在時間は短かったけれど、行って見たかった場所へ行き、普段体験できないような貴重な時間がメンバーの心の中にも流れたことでしょう。



おひるねハウスに登ったよ♪♪



しいちゃんの里にて優しい店主さんと



食品サンプル体験で芸術の秋♪♪ 10月27日(木)



天白区にある食品サンプル工場へ見学と体験に出かけてきました。テレビのニュースや旅番組などでよく目にするサンプル作りを実際に体験できるという事で、メンバーは早くから期待に胸ふくらませていました。係の方の親切なご指導で、パフェやレタス、天ぷらなどのサンプルを作ることができました。メンバーもちょっとした職人さん気分を味わえたようです！！



本物そっくり！
食べてしまいそう！

誰がだまされるかな～??



新しい取り組み
～ミニポーちゃん・はらぺこあおむし～

20年目を迎えた紙風船。メンバー・アシスタントが意見を出し合い、考え、さまざまな活動をしています。ボランティア公演や表現活動もその1つです。

ミニポーちゃん発表!

もっと気軽に紙風船の人形劇に触れてもらいたい…そんな気持ちから現在の「ポーちゃん」を少しコンパクトにしたバージョンをみんなで考えました。メンバーは今までとは違う配役にも挑戦し、いろいろな組み合わせで発表できるようになりました。9月27日には近くの特別養護老人ホーム「なごやかハウス三条」へボランティア公演に出かけ、テイサービスの方々にとっても喜んでいただきました。これからは少し小さな会場でも人形劇を観ていただけるようになると思います!



表現活動～大地の家と交流会～

大地の家のみなさんには毎年夏祭りやバーベキューなどに誘ってもらっています。同じ愛実の会の仲間として日頃の感謝の気持ちを伝えるため、10月22日(土)に交流会を企画しました。紙風船のオリジナル人形劇「モコちゃん」の原作である「はらぺこあおむし」を実写やパネルを使って楽しく表現し、いつもの人形劇とは違う雰囲気をお届けしました。最後にメンバーが作ったはらぺこあおむしのグッズを大地のメンバーにプレゼント!大地の家のみなさんに喜んでもらえたでしょうか?



～20周年記念公演に向けて～

7月24日(日) 来年3月の紙風船20周年記念公演プレ企画として、今まで紙風船を支えてくださった方々をお呼びして「感謝祭」を行いました。当日はまず「スペシャルポーちゃん」の公演を観ていただき、20周年の歩みをDVDで振り返ったりおばら先生や南先生を始め、家族の方や旧職員、ボランティアの方々からのお言葉を頂いたりしました。特に、創立当初からのメンバーは懐かしい方々との再会でお話にも花が咲いていました♪



今までありがとう
そしてこれからも・・・

3月にはさらに、一般の方にも呼びかけ20周年を記念する公演を行います。ゲストには紙風船のテーマソング「風をください」を作ってくださったシンガーソングライター関島秀樹さんをお呼びする予定です。

20年という長い間少しずつ進化し、そしてこれからも歩み続けていく紙風船。皆さまのますますの応援をよろしくお願いします!

紙風船20周年記念チャリティー公演～熊本地震復興のために～
日時:2017年3月26日(日) 13:30～開演
場所:名古屋市港文化小劇場※地下鉄名城線「港区役所」下車1番出口より南へ徒歩1分
*紙風船では義援金の募金箱を設置し、皆様にも支援を呼びかけていきます。
どうぞご協力をお願いいたします。ご質問等あれば
人形劇団紙風船 TEL: 052-693-5897
mail: ami_kamifuusen@yahoo.co.jp までお問い合わせください。

【公演だより】

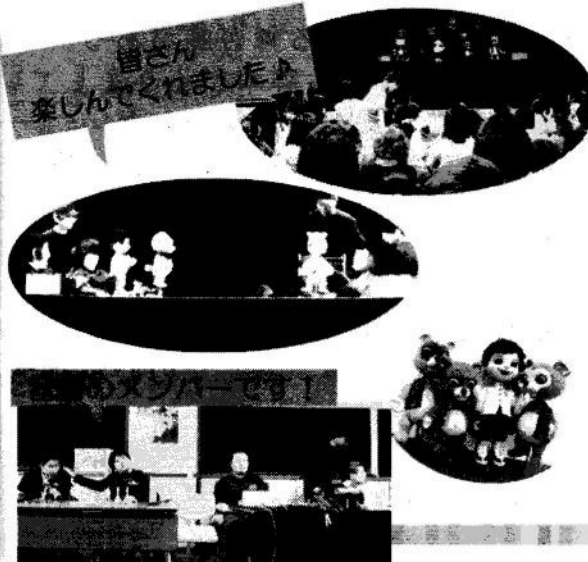
- 第213回7月20日(水) 東郷町社協主催 障がい者親子の集い 『ポンタとたっくん』
- 第214回7月24日(日) 紙風船20周年感謝祭 『スペシャルポーちゃん』
- 第215回9月27日(火) なごやかハウス三条ボランティア公演 『ミニポーちゃん』
- 第216回10月10日(月・祝) こどもアートフェスティバル 『ポンタとたっくん』

PICK UP!

こどもアートフェスティバル inひまわりホール

あなたには大切な友だちはいますか？
人形劇「ポンタとたっくん」はタヌキのポンタとたっくんという男の子が心を通わせていく物語です。数年前から取り組み、おばら先生のご指導のもとで改良を重ねてきた作品。今回は「こどもアートフェスティバル」という、人形劇が好きで鑑賞に来られるお客様の前で発表です。メンバーもアシスタントも一層の意気込みで稽古してきました。本番当日はたくさんのお客様に温かく見守られ、その成果を発揮することができました。

言葉のない、音楽と効果音だけで繰り広げられる不思議な世界の中で、タヌキたちの思いもきっとお客様に届いたことと思います。



【公演予定】

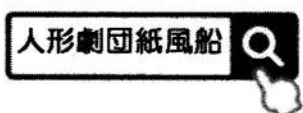
- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 2016年11月6日(日) | 東員町障がい児者を守る会 | 『ぼくたちにできること』 |
| 11月26日(土) | 北なごやパペットフェスタ | 『ポンタとたっくん』 |
| 12月3日(土) | 日本福音ルーテル大垣教会 | 『ポーちゃん』 |
| 12月6日(火) | 昭和三区ハートフル講演会 | 『ポーちゃん』 |
| 12月10日(土) | 全国障がい者芸術文化祭 | 『ポーちゃん』 |
| 12月17日(土) | エゼル福祉会クリスマス会 | 『ポーちゃん』 |
| 2017年 2月9日(木) | 矢田中学校福祉体験学習 | 演目未定 |



公演依頼を募集しています!



- ☆1公演2万～(予算につきましてはご相談に応じます)
- ☆各地域のイベントや学校の福祉教育など、目的に合わせたプログラムを組むことができます。紙風船では、お子様から大人の方までが楽しめる、夢と希望と笑顔がいっぱいつまった人形劇を目指しています。
- ☆「人形劇団紙風船」を検索!! ホームページ、ブログ、フェイスブック、ツイッターをご覧ください。



トキメキの劇づくり

南 寿樹

9年前、私は大府養護学校（現在は特別支援学校）に転勤になった。高等部2年の担任であった。始業式の日の朝、担任でもない3年生の生徒が、いきなり高2の教室にやってきた。電動車いすの生徒会長の佐古君と、副会長の永田君と堀田君だった。「先生、授業後に相談したいことがあるので、時間をとってもらえませんか？」

授業後、私が身構えて聞いた話は次のようだった。生徒会が主体となって11月の文化祭で発表する舞台劇がある。これまでの大府養護高等部の伝統だった。それで、この4月から脚本づくりをしていきたい。南先生は人形劇をしているということなので、支援をお願いしたい。——なんとたくましい自治集団魂！ 放課後も自主的に教室に残って、仲良く脚本や効果（音楽・照明）などの作品づくりをする。私がアドバイスする隙などない。結局、頼まれたのは細かい装飾の剣と盾の制作だけで、ほとんど生徒たちだけで素敵な作品を作り上げていった。

そして今年度。私は、5年ぶりに小学部から高等部に戻った。だが、生徒たちの人間関係づくりの未熟さに驚いた。知的しょうがいクラスができ、生徒数が倍増したこともあるが、みんなの心がバラバラで、仲間はずしやいがみ合いのトラブルが絶えない。

（なんとか互いを認め合い、自治集団をめざし、仲良くなれないだろうか）そこで「自立活動」という授業で、希望者を募り、劇づくりに取り組むことにした。

集まったのは、1年生3名、2年生3名、3年生2名の合計8名（男女4名ずつ）。

「どんな話がいいか」——3年生の奈美が「恋愛もので、がんばっている女の子が主人公がいいな」——出された意見を私が板書する。すると、2年生の公子が「うまく言えないので黒板に書かせて」と言って書き出す。すかさず1年生の由美も「私も書きたい」と加わり、2人で構想を作っていく。（実は現実生活では、この2人はひとりの男子をめぐって恋敵同士…。だが後ろ姿が微笑ましい）2人の案に、普段しゃべらない和美も純二も良も佑介も感想を言う。話し合いの結果、次のようになった。「被災地から転校してきた女の子が、自分探しで悩む。それをクラスメイトが励ます。そして、その子の祖母や避難所の人に、被災地支援の歌のプレゼントとして、合唱のビデオレターを送る。その子は仲間との絆を力に、恋愛もしながら成長していく」。それを脚本にして高等部33人の演劇を作り、文化祭で発表することにした。「音楽部でBGMを作ります」「わたし照明やります」「場面転換手伝います」——みんなでひとつのものを作り上げていく。（伝統の復活だ！）

ところが、当日の発表は失敗ばかり。練習不足は明らかだった。悔し涙の生徒を慰め、「来年はリベンジだ」とお互いに言い合う生徒たち。そんな生徒たちに私は言った。「劇の発表に向けて、みんなの心はひとつになった。たしかに劇は失敗だった。でも、その劇づくりの過程は成功だったんだよ」と。

【NPO愛実の会 寄付者名 (順不同・敬称略) 2015年7月1日～10月31日】

★寄付金

榊原 喜代子	松下 智恵子	矢口 由美子	早川 久美子	山崎 眞由美	森 豊	
佐藤 千萬子	佐々木 伸夫	榎本 久美江	前沢 まき代	梅津 ヨシ子 (複数回)		
岩崎 千恵子	加藤 由美子	加藤 真規子	八木 隆太郎	河合 みち子		
柳瀬 ルミ子	吉岡 満智子	今枝 ミサ子	伊藤 あつ子	前山 美恵子		
竹田 朋子	伊藤 仁久	真木 芳子	牧野 眞保	安達 清海	足立 克己	杉本 誠
榛葉 英子	下村 徹嗣	梅村 亜恵	佐藤 全弘	赤星 実環	堀尾 勇夫	柏木 實
奥山 喜正	杉山 清美	伊藤 和子	齊藤 光男	石原 艶子	鶴崎 祥子	三浦 豪
野崎 典子	比企 敦子	江崎 敬子	藤原 信子	田中 綏子	坂口 良彬	鄭 成子
石田 利彦	都築 典子	隅田 明子	阿部 健二	牛田 ヒサ	宇野 伸一	東 俊輔
見木 靖美	伊藤 裕子	青本 光子	石田 周介	畦地 優美	風間 文子	桐村 剛
中谷 塩子	河内 常男	柴田 京子	鈴置 幸代	早川 教示	島 しづ子 (複数回)	
高山 慶子	佐藤 雅美	市原 信太郎・蒼子	大淵 哲也・真喜子			

岡崎教会 こどもの教会 愛知守山教会 女性の会 吉原富士見教会 羽野 環
 在日大韓基督教会名古屋教会女性会

★紙風船夢づくり

伊藤 和昭	佐田 秀子	成田 憲彦	酒井 淳子	鈴木 善和	中森 由哉 (複数回)
宮原 祐子	鈴木 純夫	北島 敦子	鈴置 幸代	潮田 則行	佐藤 雅美
有) いろり	永井 猛	渡辺 渉	竹山 徹		
川口 いづみ	小薄 満寿美	坂野 千名美	五十嵐 和夫	石崎 亮史朗	

古賀敦子&ゲオルギー・ロマコフDuo Concert (8月26日開催) より、
 名古屋ダルクと愛実の会に10万円づつの寄付をいただきました。
 ご協力ありがとうございました。

寄付のお願い

年間目標額 320万円

- *人形劇団 紙風船の活動のため (20万円)
- *愛実の会の活動のため
- *移転に伴う借入金返済のため (870万円 2017年度完済予定)

振込書を同封いたしました。愛実の会のため、ご寄付をお願いいたします。
 これからも皆さまのお気持ちを活かした活動を行ってまいります。
 紙風船への寄付は、通信欄に「紙風船のために」など書き添えていただきますよう、
 お願いいたします。

【任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」寄付者名 (順不同・敬称略)】

近藤 洋	鈴木 尚之	洪 ゆん伸	吉谷 尚之 (複数回)	山崎 京子
内坂 徹	志村 澄江	島 しづ子	中森 由哉 (複数回)	杉浦 依都美
桐村 剛 (物品)	塚田 多佳子 (物品)	水谷 恵子 (物品)		

ご協力ありがとうございました。

職員異動

【新人・パートアシスタント】

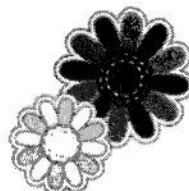
□中村 千恵

7月12日から紙風船に入った中村です。初めての職種で、分からない事ばかりですが、メンバーさんの笑顔に癒されながら頑張っています。よろしくお願いします。

【退職・正職アシスタント】

□綿貫 雅雄 (2016年5月末をもって)

□深見 貴士 (2016年8月末をもって)



引き続きアシスタントが欠員しています。良い方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。(担当:竹内。詳細はP2をご覧ください。)

【ボランティア】

□同朋大学1年、社会福祉学部の永田友香です。まだここに来て日は浅いですが、皆さんとても優しく面白い方で、ボランティアに行くのが楽しいです。少しでも皆さんの役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いします。



【所在地・連絡先】

特定非営利活動(NPO)法人 愛実の会

- 居宅介護事業所あみ(ホームヘルプ)
- 障がい者デイセンター愛実(生活介護)

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24

TEL: 052-693-5897 FAX: 052-691-7889

E-mail info@aminokai.com

ホームページ http://www.aminokai.com

【「NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 □座番号 00850-6-187490

□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会

1□1,000円 何□でも結構です

- ◆ 寄付金(賛助会費・土地建物取得費用・その他NPO愛実の会の活動に関する費用)
- ◆ 紙風船夢づくり(人形制作費、公演活動に関する費用とする)